

奈良の土地改良

発行：令和7年4月
 奈良県土地改良事業団体連合会
 奈良県橿原市城殿町459番地
 TEL0744-29-1310
 FAX0744-29-1312
<https://www.naradoren.or.jp>



未来へつなごう！ふるさとの水土里(みどり)子ども絵画展2024【農林水産大臣賞】
 「おいしいお米ができますように」奈良教育大学附属小学校 5年生
 (絵画教室：MONTANO ARTS) 北尾 幸乃 さん

関連記事P17
 ※学年は受賞当時

目次	1. ご挨拶 奈良県土地改良事業団体連合会 会長 奥野 信亮	1
	2. 全国水土里ネット表彰式	2
	3. 第65回通常総会 開催	3
	4. 令和6年度 奈良県土地改良事業団体連合会 理事会 開催	4
	5. 公益財団法人 農業振興会館 令和6年度 農業振興功績者表彰式	5
	6. 公益財団法人 農業振興会館 理事会・農業振興功績者表彰審査会 開催	7
	7. 土地改良に関する法律相談	7
	8. 奈良県農業農村整備事業推進協議会県外研修 開催	8
	9. 公益財団法人 農業振興会館 令和6年度 最先端農業を学ぶセミナー 開催	9
	10. 統合整備推進研修(会計研修)	10
	11. 令和6年度換地計画実務研修並びに所有者不明農地解消に関する研修会 開催	10
	12. 『農村振興シンポジウム』が開催されました。	11
	13. 農業農村整備に関する予算説明会・意見交換会(キャラバン)が開催されました	13
	14. 宮崎まさお参議院議員 来県	14
	15. 令和7年度 農業農村整備関係予算の概要	15
	16. 「未来へつなごう！ふるさとの水土里(みどり)子ども絵画展 2024」校内表彰式	17
	17. 令和7年度 新組織体制・新規職員の紹介	18

ご挨拶

奈良県土地改良事業団体連合会

会長 奥野信亮



陽春の候、会員の皆様方におかれましては、ますます御清祥のこととお喜び申し上げます。日頃より皆様方には、農業水利施設の維持管理をはじめ、土地改良事業の推進にご尽力いただき、それぞれの地域の農業農村の振興発展を支えておられますことに深く敬意を表しますとともに、本連合会の業務運営にご協力をいただいておりますことに厚く感謝申し上げます。

さて、昨年六月に食料・農業・農村基本法が改正され、今年度からは食料安全保障の確保をはじめ、新たな食料・農業・農村基本計画に基づく各種の施策が展開されます。これらの施策を推進する上で基盤となる農業水利施設の適切な保全と更新整備、スマート農業にも適した農地の整備など、土地改良事業は不可欠であると考えます。

国の令和七年度の土地改良関係予算は、昨年度を260億円上回る6,500億円が確保されました。当連合会としても国や県と連携しながら各地域の実情に応じた事業の円滑な推進支援に努めるとともに、引き続き必要な予算確保や制度の充実等を国など関係機関に働きかけて参ります。

現在、国会においては、土地改良施設の強靱化や適切な更新整備の推進、施設管理の体制強化を目指した土地改良法改正が審議されております。こうした法律改正や制度の充実、予算の確保等においては、皆様はじめ全国の土地改良関係者の代表である、進藤かねひこ、宮崎まさお両参議院議員の尽力によるところが大きく、両議員は精力的に全国各地を訪れ、農業農村の現場における関係者の声に耳を傾け、それを国政の場で発信することで、政策・制度の充実、予算の確保等に反映されているわけです。

本年七月には宮崎まさお参議院議員の2期目の挑戦が控えております。食料安全保障の確保や農業農村の振興、土地改良事業の推進のためには、今後も宮崎議員には継続してご活躍いただく必要があると考えております。どうぞ皆様方におかれましても議員が果たしている役割をご理解いただき、一層のご支援を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

ところで、来年11月に本県では初となる全国土地改良大会の開催を予定しています。この大会を契機に全国の参加者に本県農産物をアピールするとともに、県内各地を視察いただいて本県農業の魅力を発信することで農業農村の発展に繋げていきたいと考えております。どうぞ会員皆様方におかれましても大会の趣旨、意義をご理解いただき、積極的にご支援賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

結びに会員皆様のご健勝と益々のご発展をお祈り申し上げご挨拶といたします。

全国水土里ネット表彰式

令和7年3月26日(水)シェンバツハ・サボ- (東京都千代田区)において「全国水土里ネット表彰式」が開催されました。

「全国水土里ネット表彰式」は、土地改良事業を通じ地域農業の発展に優秀な成果を収めているなど長年にわたり運営が良好である個人と団体の表彰(全国土地改良功労者等表彰)と、農業農村整備事業を契機として生産性の高い農業を実現している地区及び個性ある地域づくりを進めている団体に対して表彰(農業農村整備優良地区コンクール)を行うものです。

皆様、栄えある受賞、誠におめでとうございます。今後の益々のご発展、ご繁栄をご祈念申し上げます。



表彰式の様子



笹川農林水産副大臣の祝辞

第66回 全国土地改良功労者等表彰 全国水土里ネット会長賞

(団体表彰)



市場土地改良区(大和高田市)
田口 美智雄 理事長

(個人表彰)



大和平野土地改良区
新井 宏巳 事務局長

令和6年度 農業農村整備優良地区コンクール 中山間地域等振興部門 全国水土里ネット会長賞

(桜井市笠地区)



(有)荒神の里・笠そば
山本 信廣 代表取締役社長

【桜井市笠地区の概要】

笠地区では、国営総合農地開発事業(大和高原南部地区)で造成した農地にそばを新規導入し、集落全戸が参加する法人を設立しました。「笠そば処」を開設し、生産から加工、販売までを一貫しておこない、6次産業化や「笠そば」のブランド化を推進することで、そばを基軸とした地域農業の発展と地域活性化に取り組んでいます。

第65回 通常総会 開催

令和7年3月22日(土)、大和平野土地改良区 大会議室において、89会員の出席（当日出席48会員、委任状41会員）を得て、第65回通常総会を開催しました。



はじめに、奥野 信亮 会長から、総会にお集まりいただいたお礼と、総会の議案について慎重審議をお願いしたいとの挨拶がありました。

来賓祝辞では、近畿農政局 藤河正英次長より、農業農村整備事業をはじめ、近畿農政局所管へのご支援、ご協力に対するお礼が述べられました。近畿農政局では、農泊や農福などの取組み、農村RMO、鳥獣被害の防止等、農村振興にかかる各種事業についても推進していく。今後も、現場の方々の意見に十分に耳を傾け、各種施策の推進を行うので、引き続き協力をお願いしたいとの言葉がありました。

続いて奈良県食農部 乾 新弥 部長より、奈良県の施策である特定農業振興ゾーンについて、新年度から新たな取り組みを進めたい。令和8年11月に開催される全国土地改良大会奈良大会では、奈良県の食・農・観光を一緒にPRできるよう、引き続きのご協力をお願いしたいとの言葉がありました。



挨拶
奥野 信亮 会長



祝辞
藤河正英 近畿農政局次長



祝辞
乾 新弥 奈良県食農部長

議事では、上田議長(大和郡山市長)の下、令和5年度事業報告、収支決算や令和7年度事業計画、収支予算などが審議された他、令和8年度に開催する全国土地改良大会奈良大会の円滑な実施に向け、常務理事を2名体制とし、併せて理事定数の1名増を行う定款の一部変更について審議が行われ、全ての議案について原案通り承認を得ました。

その後、任期満了に伴う役員改選について、役員を推薦するための詮衡委員会を開催し、理事16名、監事3名の選任が承認されました。



議長
上田 清 大和郡山市長

議 事

- 第1号議案 令和5年度事業報告について
- 第2号議案 令和5年度会計収支決算、貸借対照表及び財産目録について
- 第3号議案 令和6年度会計収支補正予算の専決の承認について
- 第4号議案 定款の一部変更について
- 第5号議案 令和7年度事業計画について
- 第6号議案 令和7年度経費の賦課徴収について
- 第7号議案 令和7年度会計収支予算について
- 第8号議案 令和7年度役員報酬について
- 第9号議案 令和7年度一時借入金の限度額及び借入方法について
- 第10号議案 令和7年度金銭の預入先について
- 第11号議案 任期満了に伴う役員を選任について



新役員挨拶（左から）

榎田忠敬 JAならけん経営管理委員
 東口義巳 白川溜池土地改良区連合理事長
 金剛一智 宇陀市長
 寺本保英 五條吉野土地改良区理事長
 長谷川憲生 奈良県食農部次長



井上 源一
 詮衡委員会委員長
 (大和高原南部土地改良区理事長)

役員名簿

役職名	氏名	その他の役職	備考
会長	奥野 信 亮	学識経験者、元衆議院議員	
副会長	上 田 清	大和郡山市長	
副会長	中 筋 弘	西和土地改良区理事長	
常務理事	菅 谷 義 寛	学識経験者	
常務理事	長谷川 憲 生	学識経験者	新任
理事	堀 内 大 造	大和高田市長	
理事	並 河 健	天理市長	
理事	亀 田 忠 彦	橿原市長	
理事	金 剛 一 智	宇陀市長	新任
理事	芝 田 秀 数	曾爾村長	
理事	森 川 裕 一	明日香村長	
理事	小 澤 晃 広	川西町長	新任
理事	金 澤 秀 樹	大和平野土地改良区理事長	
理事	寺 本 保 英	五條吉野土地改良区理事長	新任
理事	上 田 美加子	学識経験者	
理事	黒 瀬 礼 子	学識経験者	
総括監事	松 井 正 剛	桜井市長	新任
監事	榎 田 忠 敬	JAならけん経営管理委員	新任
監事	東 口 義 巳	白川溜池土地改良区連合理事長	新任

※任期は令和10年3月31日まで

令和6年度 奈良県土地改良事業団体連合会 理事会 開催

令和7年2月21日(金)、大和平野土地改良区3階 理事会室において、令和6年度 奈良県土地改良事業団体連合会 理事会を開催しました。上田議長（大和郡山市長）の下、各議案が審議され、全て原案通りに可決されました。

議 事

- 第1号議案 令和6年度会計収支補正予算の専決について
- 第2号議案 定款の一部変更について
- 第3号議案 令和7年度事業計画について
- 第4号議案 令和7年度経費の賦課徴収について
- 第5号議案 令和7年度会計収支予算について
- 第6号議案 令和7年度役員報酬について
- 第7号議案 令和7年度一時借入金の限度額及び借入方法について
- 第8号議案 令和7年度金銭の預入先について
- 第9号議案 第65回通常総会の開催について
- 第10号議案 処務規程の一部変更について



公益財団法人 農業振興会館 令和6年度 農業振興功績者表彰式

令和7年3月22日(土)、奈良県土地改良事業団体連合会 第65回通常総会に引き続いて、公益財団法人農業振興会館 令和6年度 農業振興功績者表彰式を開催しました。



令和6年度 農業振興功績者表彰 受賞者

◆ 農業振興功績大賞

三浦 雅之 様 (奈良市)

地域共同センターパンドラファームグループ 様 (五條市)

◆ 農業振興功績賞

御所市柿産地協議会 様 (御所市)

上段 左から

一阪南近畿土地改良
調査管理事務所長
長谷川県食農部次長
乾県食農部長
井上受賞者会顧問
黒瀬受賞者会副会長
東口受賞者会会長
大倉受賞者会副会長
中筋受賞者会顧問
栗山奈良市
観光経済部長
福井副理事長
菅谷常務理事

中段 左から

鎌田農業共済
組合長理事
栗原県農業協同組合
代表理事長
増井農業会議会長
芝田曾爾村長
松井桜井市長
上田大和郡山市長
堀内大和高田市長
金剛宇陀市長
西脇平群町長
木谷三郷町長

下段 左から

平岡五條市長
和田代表
王隠堂代表
(パンドラファームグループ)
奥野理事長
福谷副知事
三浦氏
中坊会長
樺田副会長
(御所市柿産地協議会)
山田御所市長



奥野理事長挨拶



来賓祝辞 福谷副知事



受賞者 体験発表
三浦 雅之氏



受賞者 体験発表
地域共同センター
パンドラファームグループ
王隠堂 誠海氏

◆ 三浦 雅之 様

県内各地に伝わる在来種の調査を通じて伝統的な食文化を発信するとともに自ら遊休農地を開墾して在来種を中心に150種におよぶ作物生産を行い、営農組織とも連携し地域の風土に応じた食材を活用したレストラン経営を確立し、地域農業の継続と振興に大きく貢献されました。



地元の食材約50種類を使うコース料理



著書「奈良のタカラモノ」に奈良の在来作物の調査研究をまとめあげる



農家レストラン「清澄の里 粟」(左)・「粟 ならまち店」(右)

〔プロフィール〕

- 舞鶴市生まれ、平成10年より奈良市で就農開始
- 2002年に「清澄の里 粟」、2009年に「粟 ならまち店」を開店
- 2つのレストランがミシュランガイドのグリーンスターに掲載

◆ 地域共同センターパンドラファームグループ 様

有機農業や環境に配慮した農業の推進、生産者のネットワーク形成による農産物の品質向上と生産加工販売の分業による生産効率化、農産物加工による食品ロス削減、地域資源を活用した都市農村交流など、中山間地域農業の振興に寄与され新規就農者育成や障害者雇用促進にも貢献されました。



グループのネットワークによる活力あふれる職場環境が整う



〔中核企業〕

- ・(株)パンドラファームグループ
代表 和田 宗隆
- ・(有)王隠堂農園
代表 王隠堂 誠海
- ・(有)農悠舎
代表 王隠堂 正悟哉

◆ 御所市柿産地協議会 様

御所柿の原種の保存と栽培普及活動をおこなうとともに、柿の木オーナー制度による地域振興、柿蜜の開発による六次産業化の推進、行政や関係団体と連携し大都市での広報展示など、御所ブランド認定品である御所柿の認知拡大や販路拡大のため貢献されました。



〔協議会概要〕

- ・代表 中坊 成敏
- ・会員数 27名
- ・2010年 御所市柿産地協議会設立
- ・2011年 「柿の木オーナー制度」開始
- ・2020年 「御所柿」「KAKIMITSU(柿蜜)」御所ブランド認定



PRイベントの様子

柿の木オーナー制度集まりの様子

公益財団法人 農業振興会館 理事会・農業振興功績者表彰審査会 開催

令和7年2月21日(金)、大和平野土地改良区3階 第5会議室において、令和6年度 公益財団法人 農業振興会館 理事会 及び 農業振興功績者表彰審査会が開催されました。

農業振興功績者表彰審査会においては、本年度の表彰候補者について審議の結果、奈良県内において農業技術の開発、農村環境の整備等に努め、その普及・教育に功績のあった1名2団体の表彰者を決定しました。(関連記事P5-6) その後の理事会では、下記の6議案の審議が行われ、全ての議案が可決承認されました。後日、決議の省略の方法による評議員会において補欠監事1名(西本安博 安堵町長)が選任されました。

議 事

- 第1号議案 令和6年度農業振興功績者表彰について
- 第2号議案 令和6年度寄付の申し入れの承認について
- 第3号議案 特定費用準備資金の計画期間の延長について
- 第4号議案 令和7年度事業計画並びに会計収支予算について
- 第5号議案 令和7年度資金調達及び設備投資の見込みについて
- 第6号議案 決議の省略の方法による評議員会の招集について



挨拶 奥野信亮 理事長



議長 福井常夫 副理事長



役員・評議員名簿

(令和7年3月19日現在)

役職名	氏名	その他の役職	備考
理事長	奥野 信亮	元衆議院議員	
副理事長	福井 常夫	元天理市副市長	
常務理事	菅谷 義寛	学識経験者	
理事	乾 新弥	県食農部 部長	
理事	増井 勲	県農業会議会長	
理事	別所 矩佳	元県花き植木農業協同組合代表理事組合長	
理事	藤永 和生	元農業振興会館常務理事	
理事	清水 淳子	学識経験者	
理事	井上 源一	大和高原南部土地改良区理事長	
監事	西本 安博	安堵町長	新任
監事	樺田 忠敬	JAならげん経営管理委員	
評議員	松井 正剛	桜井市長	
評議員	長谷川憲生	県食農部 次長	
評議員	大井 徳雄	北倭土地改良区顧問	
評議員	川端 修	元県市長会・町村会事務局長	
評議員	吉村 増雄	旗尾土地改良区理事長	
評議員	中筋 弘	西和土地改良区理事長	

土地改良に関する法律相談

本会では、法的な判断が必要とされる土地改良区に関する案件について、顧問弁護士による法律相談を行っております。

※県に対する許認可(定款変更の手続きなど)等の行政事務は除きます。

実施日：令和7年 5月 14日(水)・6月 18日(水)
 7月 16日(水)・8月 20日(水)
 9月 17日(水)

時 間：13:30~16:30

場 所：大和平野土地改良区事務所 3階会議室

弁護士：おおみね法律事務所 石黒 良彦 氏

費 用：無料

申込み：奈良県土地改良事業団体連合会 総務企画課 TEL:0744-29-1310

お気軽に
ご相談ください♪



奈良県農業農村整備事業推進協議会 県外研修 開催

令和6年度 奈良県農業農村整備事業推進協議会（会長 上田 清 大和郡山市長）の県外研修（事業視察）を令和7年1月17日（金）和歌山県紀の川市で開催しました。県外研修は令和元年度以来5年ぶりの開催で、会員及び事務局合わせ19名が参加しました。和歌山県那賀振興局及び和歌山県土地改良事業団体連合会の協力により、県営ため池整備事業「あさお池」と県営中山間総合整備事業「尼寺地区」を訪問しました。最初に那賀振興局 農地課 高木課長より事業の概要説明と和歌山県の現状の説明を受け現地を視察しました。和歌山県ではため池整備事業の県営事業と団体営事業を受益面積5haで区分けしています。「あさお池」は県営事業で実施されており、参加者から羽金土の搬入方法や補助率などの質問が出ていました。

高木課長の説明



事業の説明



現場視察



午後から県営中山間総合整備事業「尼寺地区」を訪問し、尼寺公民館において和歌山県土連の前田主幹の進行により県からの事業説明、また地元ほ場整備事業の役員の方の説明を受けました。土地利用計画の方法、地元負担金、鳥獣害対策などについて質問がありました。久しぶりの県外研修で、寒い中での研修ではありましたが、女性技術者の参加もあり、有意義な研修となりました。

県担当及び地元役員の方々



現地視察



事業の説明



あさお池にて



尼寺公民館にて



公益財団法人 農業振興会館 令和6年度 最先端農業を学ぶセミナー 開催

令和7年2月7日(金)、なら食と農の魅力創造国際大学校附属セミナーハウスにおいて、「令和6年度 最先端農業を学ぶセミナー」を、NAFIC周辺賑わいづくり協議会との共催、奈良県の後援、近畿大学の協力により開催しました。

スマート農業に関する取組事例のプレゼンテーションの後、電動クローラー、水門巻き上げ機、農業用ドローンや自走式草刈り機等、講演内容となった機器の展示と実演を行い、最後に近畿大学 松野教授の司会の元、講師と参加者による質疑応答が行われました。

約50名の参加者は講演を熱心に聞かれるだけでなく、関連機械の実演や質疑応答では積極的に質問をされており、実際に「見て・聞いて・学ぶ」、有意義なセミナーとなりました。

● 挨拶



農業振興会館
副理事長 福井 常夫

● 講演



近畿大学農学部
教授 松野 裕



五條吉野土地改良区
中平 薫



(株)北陽 技術部長
森上 浩伸



(株)ソラカケ 代表取締役
松本 尚訓



遠藤商事
草刈 まさお



プレゼンテーション聴講の様子

● スマート農業関連機器展示・実演



農業用ドローン 展示



すいろまるるテープ 実演



自走式草刈り機 展示



農業用ドローン 実演飛行



電動クローラー 実演



質疑応答

統合整備推進研修（会計研修）

令和7年1月30日（木）大和平野土地改良区3階大会議室において、令和6年度統合整備推進研修（会計研修）を開催し、各土地改良区の役職員及び関係者57名の出席がありました。今年度の研修も1部と2部に分けて開催しました。菅谷常務理事の挨拶の後、1部では土地改良区の検査・指導を行う農村振興課の屋嘉比主任主査より「土地改良区からの提出書類」と題して土地改良法の改正に伴い土地改良区が県に提出しなければならない書類について改めて説明がありました。次に、県内ではまだまだ単式簿記を採用している改良区が多数あるので、単式簿記から一括変換仕訳による貸借対照表の作成について、奈良県土連の道具参与より説明がありました。さらに奈良土連の杉井事務局長より単式簿記から複式簿記への移行の推進について話がありました。2部では財務関係の研修として、財務諸表の作成及び今後土地改良区で導入が検討される財務分析について全土連の支援部金内主査より説明がありました。今後も土地改良区の状況に応じた研修を実施したいと考えています。また、引き続き、土地改良区の訪問も行いますので、ご理解とご協力をお願いします。



菅谷常務理事



奈良県 屋嘉比主任主査



奈良土連 道具参与



奈良土連 杉井事務局長



全土連 金内主査



会場の様子

令和6年度換地計画実務研修並びに所有者不明農地解消に関する研修会 開催

令和7年3月13日（木）大和平野土地改良区事務所3階 大会議室にて、令和6年度換地計画実務研修を開催しました。

講師には、全国土地改良事業団体連合会中央換地センターの平木琢主任、茨城県土地改良事業団体連合会県北事業所の監物淳二参与をお招きしました。

本研修は、土地改良区体制強化事業における「研修・人材育成」の一環として、換地事務の促進に資することを目的に、新規に換地事務を担当する技術者を対象に実施しました。平木講師からは、「換地をめぐる諸情勢について」というテーマで、民法改正をはじめ関係法令について講義をいただきました。また、監物講師からは、「所有者不明農地の解消に向けた実務処理事例について」というテーマで、農地の区画整理の現場で実際に扱われた所有者不明土地の処理事例をもとに、調査から当該農地の所有権処分までの事務手続きについて、より実務に即した形式できめ細やかな講義をいただきました。



研修会の様子



【換地をめぐる諸情勢について】
全国土地改良事業団体連合会中央換地センター
平木 講師



【所有者不明農地の解消に向けた実務処理事例について】
茨城県土地改良事業団体連合会
監物 講師



令和7年2月15日（土）、なら100年会館大ホール1階において、奈良県主催、奈良県多面的機能支払推進協議会、奈良県農村地域づくり協議会後援で、都市農村交流を通じて地域の活性化と活動の質的向上を図るとともに、農村地域の魅力を発信し、地域に元気と幸せをもたらす取り組みの一環として農村振興シンポジウムが開催されました。

シンポジウムでは、奈良県農村振興優良組織表彰、俳優・株式会社AGURIKO代表取締役 小林涼子氏による基調講演やパネルディスカッション、活動紹介パネル展が行われました。

奈良県農村振興優良組織表彰

この表彰は、多面的機能支払交付金制度や中山間地域等直接支払制度の取り組みにおいて、関係者の意欲や高揚を図るとともに、他組織の取り組みの更なる充実を促進するために創設されました。

先進的で他の模範となるとともに継続性が期待される取り組みで、農業体験などのイベントを通して都市農村交流活動など「活力ある地域づくりに向けた取り組み」、広域化や多様な主体の参画により「組織の強化に向けた取り組み」、耕作放棄地の解消と農地の有効活用や植栽・美化活動など「農村環境の向上に向けた取り組み」を積極的に行っている組織に対して表彰するものです。



県内の農村地域活動優良地区として活動組織の中から針ヶ別所の穂田留を守る会（奈良市）、十市町地域保全向上活動組織（橿原市）KSK（葛城市）の3地区が表彰されました。

左から
針ヶ別所の穂田留を守る会
奈良県 山下真 知事
十市町地域保全向上活動組織
KSK

針ヶ別所の穂田留を守る会（奈良市）

耕作放棄の解消を図る集積と農地の保全、地域住民全員で活動する組織として一般社団法人針ヶ別所未来開発を設立し、後継者が不在の農地管理や女性が主役の加工品開発などにより、地域住民の共助意識の向上と地域発展を図っています。

十市町地域保全向上活動組織（橿原市）

農村の地域文化、伝統の次世代へ継承するだんじり祭りを通じて新住民と町内企業の参加から、地域の活性化を図り、農業体験を通じた食育の実践など活力ある地域づくりに向けて積極的に取り組んでいます。

KSK（葛城市）

七集落による協議会活動「カツラギセブン」として、毎月の会合で、集落の共通課題の解決に向けた取り組みを検討。農地の景観保全にひまわり畑、各集落を巡る葛城山麓ウォーク、遊休農地を活用した古代小麦の生産・加工品開発、バイオ炭を農地に戻し資源循環を図る取り組みを進めています。

基調講演

地域の魅力を都市に伝える
～農村の価値と持続可能な未来～

小林涼子さんは、2017年から新潟県で稲作を始め、株式会社AGRIKO（アグリコ）を設立し、障害者と共に都市型農業を進める「農福連携」に取り組んでいます。また、農林水産省の審議会にも参加し、俳優としてはNHKの連続テレビ小説やテレビの番組に出演し、ラジオでも活動しています。俳優業に疲れたことから家族に勧められ新潟を訪れ、リフレッシュとして農業に興味を持ち、特にお米の生産に魅力を感じられたそうです。2021年には家族の体調不良を契機に企業を立ち上げ、AGRIKOでは、障害者の才能を生かした都市型農業「AGRIKO FARM」を運営し、アクアポニクス栽培を導入して魚と農作物の共生を図っています。特にティピアやホンモロコを育て、さまざまな農産物を栽培中で、農業におけるバリアフリーの環境づくりを目指しています。農業の課題や自身の経験から、地域の農業発展を目指す質疑応答が行われました。特に東京での農業の可能性や、地域資源を生かした新たな農業像の模索を続け、協力の重要性を強調し、最後に参加者への感謝の意を表して講演を締めくくりました。



小林涼子氏

パネルディスカッション

都市と農村の共存共栄
～持続可能な地域社会を目指して～

京都府立大学 農学食料学部 農学生命科学科 中村准教授をコーディネーターに自然派農場しもかわ代表 下川麻紀氏、NPO法人 ハンサムガーデン代表理事窪一氏、小林涼子氏を迎えパネルディスカッションが行われました。



活動紹介パネル展

活動紹介パネル展では、農産物や、郷土食、美しい自然、お祭りや伝統行事等、農村ならではの魅力を活かし、農業・農村体験や交流イベント、特産品づくりに取り組む団体である奈良県農村地域づくり協議会の活動の紹介や奈良の食の紹介がありました。



農業農村整備に関する予算説明会・意見交換会(キャラバン)が開催されました

令和7年2月17日(月)、大和平野土地改良区事務所3階 大会議室において、農林水産省による「農業農村整備に関する予算説明会・意見交換会」(キャラバン)が開催され、農林水産省、奈良県食農部、市町村、土地改良区、近畿大学、当連合会から総勢44名が出席し開催されました。

まず、農林水産省の鈴木豊志 農業用水対策室長から開会挨拶があり、次に、中西大介 土地改良企画課課長補佐から令和7年度予算と農業農村整備に係わる様々な国の施策等の情報提供がありました。



予算説明会の様子



農林水産省 鈴木室長
(開会挨拶)



農林水産省 中西課長補佐
(予算説明)

引き続き、意見交換会に移り、以下の25名が各組織を代表して参加しました。意見交換会では、様々な意見・要望が出され、その都度活発な意見交換がなされました。

- | | |
|--|-------------------------------|
| ■農林水産省 農村振興局整備部 水資源課 農業用水対策室 鈴木豊志室長、裏井大暉係長 | |
| 〃 土地改良企画課総務班 中西大介課長補佐 | |
| 〃 近畿農政局農村振興部 設計課 松本紘明課長、南近畿土地改良調査管理事務所 一阪所郁久所長 | |
| ■奈良県食農部 長谷川憲生次長、農村振興課 木下大輔係長 | ■近畿大学 農学部 松野裕教授 |
| ■大和郡山市 上田清市長、農業水産課 春名宏昭課長 | ■桜井市 松井正剛市長、まちづくり部 吉中秀行部長 |
| ■広陵町 山村吉由町長、地域振興部 栗山ゆかり部長 | ■明日香村 熊丸敦之副村長 |
| ■大和高原北部土地改良区 下村雅清理事長、西畑恵事務局長 | ■大和高原南部土地改良区 井上源一理事長、薄木孝雄事務局長 |
| ■五條吉野土地改良区 寺本保英理事長、辻田祥友事務局長 | ■西和土地改良区 中筋弘理事長 |
| ■大和平野土地改良区 吉村三男専務理事、新井宏巳事務局長 | ■奈良県土地改良事業団体連合会 菅谷義寛常務理事 |

【主な意見・要望】

- ・ 農業用施設の老朽化に伴う更新事業において、事業費の高騰もあり、各改良区の資金不足が喫緊の課題。
- ・ 農振法改正に関し、農用地の規制が厳しくなるということだが、地域の活性化のための緩和措置を要望。
- ・ 獣害が深刻で、6次産業化では、収量不足で営業や雇用が出来ず被害が甚大となり、支援制度を要望。
- ・ 若者や女性が働きやすい環境にするためには、ほ場へのトイレの設置が必要。
- ・ 農業土木技術者が不足しており、災害時等の対応が大きな課題。
- ・ 農業農村整備事業は、食料安定供給や多面的効果など国民のため幅広い効果があることをPRするよう提案。



意見交換会の様子



大和郡山市 上田市長



西和土地改良区 中筋理事長

宮崎まさお参議院議員 来県（2月8日）

宮崎雅夫参議院議員（全国水土里ネット会長会議顧問）が2月8日（土）に来県されました。午前中は、桜井市内の「ウッドメッセ奈良」において、森林・木材関係者の皆さんとの意見交換会を開催し、後継者確保の問題や森林法の改正、1次産業である森林業・木材業の重要性を広く周知するための広報等について、幅広く意見交換をされました。

また、午後からは葛城山麓協議会、市場土地改良区、平和土地改良区の皆さんと、農業後継者の問題、米の価格問題、土地改良区が広報を行うことの重要性について、熱心に意見交換をされました。

宮崎議員からは「皆様の思い、貴重なご意見を持ち帰り、政策に反映するよう取り組んでいきたい」との発言をいただきました。



ウッドメッセ奈良での意見交換の様子（桜井市）



葛城山麓協議会（葛城市）



市場土地改良区（大和高田市）



平和土地改良区（大和郡山市）

令和7年度 農業農村整備関係予算の概要

令和7年度 予算額

令和7年度当初	2,374(2,487)百万円
令和6年度補正	1,382(1,041)百万円
合計	3,757(3,528)百万円
【公共事業】	
・補助公共事業	1,307(1,305)百万円 [1,381百万円]
・県単独公共事業	120(120)百万円
・直轄事業負担金	68(228)百万円

※()前年度、
[] 前年度補正

食農部
農村振興課

特定農業振興ゾーンをはじめとする農地活用と、防災・減災対策や農村地域づくりによる豊かな農村の振興を図る

主要な対策

1. 生産基盤の整備と企業参入の促進

237(398)百万円 [480百万円]

各ゾーンの目標達成のために、高収益作物の導入、スマート農業や新技術活用などあわせ、ほ場整備や用排水路整備など、必要な基盤整備を県が事業主体となり実施。新たな担い手となる企業の参入促進に向け、農地情報調査に着手。



ドローンによる農業散布試験
(百済川向地区・広陵町)

2. 主要産地（リーディング品目など）の発展

339(364)百万円 [195百万円]

柿（五條吉野地区）、茶（大和高原北部地区）、高原野菜（大和高原南部地区）、小菊（西和地区）などの主要産地を、時代のニーズにあった営農に対応と、さらなる発展のため農地、農業用施設の更新整備を実施。



自動かん水制御システム導入試験
(五條吉野地区)

3. 農村地域の防災・減災対策

398(396)百万円 [617百万円]

防災重点ため池（県内966箇所）を対象に、劣化調査や改修整備と併せ管理体制の支援を実施。流域治水の取組の一環として、ため池改修工事に併せて治水容量を確保。治水上問題がある井堰を改修し、流下能力を確保。

4. 農業用水利施設の長寿命化対策

299(178)百万円 [87百万円]

老朽化により営農に影響を来している農業用井堰の更新を計画的に実施。吉野川分水や一の木ダムなど基幹水利施設を、長寿命化対策によりライフサイクルコストを低減。先人が築いた貴重な財産を後世に受け継ぐ取組を実施。

5. 魅力ある農村地域づくり

653(578)百万円

日本型直接支払制度と連携し地域計画の策定を推進。農村地域づくりの核となる人材の育成及び地域の事務を担う人材バンクの設立。農村RMO形成に向け、出前講座等によりスタートアップを支援。

主な取組

○県営ほ場整備事業 99百万円【184百万円】

百済川向地区（広陵町）21.8ha、丹原地区（五條市）11.7ha
 （実施内容）区画整理、用排水路、農道整備、高収益作物導入施設など

○県営畑地帯総合整備事業 139百万円【296百万円】

法貴寺地区（田原本町）38.0ha、伊那佐東部地区（宇陀市）25.8ha
 上庄・梨本地区（平群町）18.0ha、八田地区（田原本町）9.3ha
 大宇陀政始北部地区（宇陀市）33.9ha
 （実施内容）農業水利施設の更新、ICT水管理システムの導入など

整備状況



ほ場整備による区画拡大
 （丹原地区・五條市）

温度等自動測定



スマート農業実証実験
 （伊那佐東部地区・宇陀市）

○県営畑地帯総合整備事業 53百万円【59百万円】

【柿】柘原地区（下市町）71.2ha
 （実施内容）パイプライン整備による用水供給
 【高原野菜など】

大和高原南部地区（宇陀市・桜井市）85.7ha
 （実施内容）貯水池やポンプの改修整備

○基幹水利施設管理事業 46百万円

大和高原北部地区、五條吉野地区

○県営一般農道整備事業 146百万円

大野向測地区（宇陀市）
 西吉野賀北地区（五條市）

○県営ほ場整備事業

95百万円【136百万円】
 北村地区（奈良市）



給水スタンドの設置
 （湯塩地区・五條市）

○県営防災対策事業 168百万円【129百万円】

葛城山麓地区（葛城市）、香芝地区（香芝市）
 尼ヶ辻地区（奈良市・河川応急）

○団体営防災対策事業 230百万円【488百万円】

ため池整備、ため池耐震調査、劣化調査
 河川応急

整備前



整備後



ため池改修（葛城山麓地区・葛城市）



尼ヶ辻井堰（奈良市）

○農業水利施設整備・診断事業 267百万円【87百万円】

曾我川大樋地区（橿原市）
 農業用取水堰調査
 農業用取水堰や農業用排水路の改修

○国営農業水利管理事業費負担金 32百万円

下測頭首工、大迫ダム、津風呂ダムの管理費負担



大迫ダム



水のつながりプロジェクト

○農村資源を活用した地域づくり事業 53百万円

○中山間地域活力アップ事業 26百万円

○多面的機能支払交付金事業 271百万円

○中山間地域等直接支払交付金事業 303百万円



活動組織リーダー研修



地域の話し合いの場への出前講座

「未来へつなごう！ふるさとの水土里(みどり)子ども絵画展 2024」校内表彰式

「未来へつなごう！ふるさとの水土里(みどり)子ども絵画展 2024」には、全国から3,068点の作品応募があり、その中から大臣賞等6作品、協賛企業・団体賞26作品、地域団体賞53作品、入選146作品、佳作170作品が選考されました。

奈良県内小学校・絵画教室からは52作品の応募があり、その中から農林水産大臣賞、お米がうまいで賞、水土里ネット奈良 会長賞、入選の4作品が選ばれました。おめでとうございます。

後日、小学校にて受賞者の方々へ表彰状・副賞が手渡されました。

🏆【農林水産大臣賞】



「おいしいお米ができますように」
奈良教育大学附属小学校 5年生
(絵画教室：MONTANO ARTS) 北尾 幸乃 さん

🏆【お米がうまいで賞】

協賛企業：株式会社角谷文治郎商店



「ぼくの家での田植え」
大和郡山市立治道小学校 5年生
(絵画教室：MONTANO ARTS) 村井 友樹 くん

🏆【水土里ネット奈良 会長賞】



「みどりのあふれるわたしのふる里」
檀原市立真管北小学校 2年生
(古井絵画教室) 三浦 陽菜 さん



🏆【入選】

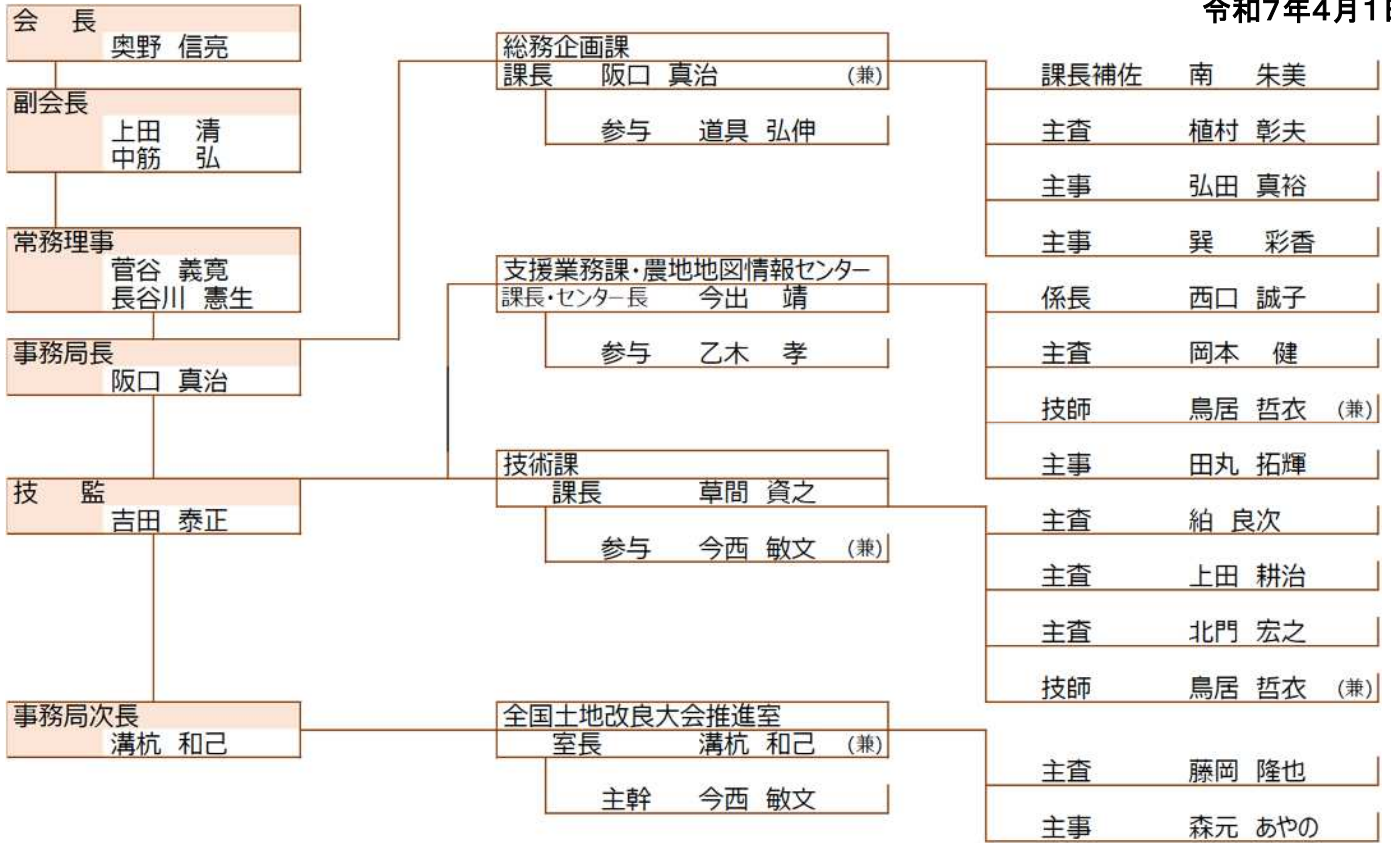


「ひまわりとため池」
檀原市立畝傍東小学校 5年生
三橋 葵 さん

※学年は受賞当時

令和7年度新組織体制・新規職員を紹介

令和7年4月1日



事務局長
さかぐち しんじ
阪口 真治

令和7年4月1日付けで奈良県土地改良事業団体連合会に採用されました阪口真治と申します。今年3月に奈良県庁を退職するまでの4年間を含め16年間、農政に関わらせていただきましたが、本連合会の業務に直接接する機会に恵まれませんでした。今回ご縁をいただき大変嬉しく思っています。皆様方に教わりながら、少しでも早くお役に立てるよう頑張りたいと思いますので、どうぞよろしくお願いいたします。



総務企画課 主事
たつみ あやか
巽 彩香

巽彩香と申します。大学では古典文学を勉強していました。趣味は文房具を集めること、特にノートなどの紙ものが好きです。これまで勉強していた文学とは異なる分野ですが、まずは今できることを精一杯頑張りたいと思います。ご指導、ご鞭撻のほどよろしくお願いいたします。

新規採用職員のご紹介



支援業務課 主事
たまる ひろき
田丸 拓輝

初めまして、田丸拓輝と申します。私は千葉県のある銚子市で生まれ、大学から奈良県に住むこととなり、ご縁があって奈良県土地改良事業団体連合会に入職させていただきました。趣味は読書をするので、ライトノベルをよく読んでいます。日々の業務経験から学び、着実に成長していきたいと思っております。



全国土地改良大会推進室 主事
もりもと あやの
森元 あやの

令和7年4月1日付けで奈良県土地改良事業団体連合会の全国土地改良大会推進室に配属されました、森元あやのと申します。大学では日本文学を専攻し、小説を批評したり創作したりしておりました。今後は土地改良事業について積極的に学んでいき、活躍できるよう頑張りますのでどうぞよろしくお願いいたします。

令和7年度行事予定		
開催月	会議・行事名	開催(予定)場所
5月19日(月)	奈良県農業振興功績者表彰受賞者会総会・研修会	曽雨村
5月下旬	奈良県農村地域づくり協議会通常総会	大和平野土地改良区
6月18日(水)	農業農村整備の集い	東京都
6月18日(水) から19日(木)	国予算にかかる政策提案・要望活動	東京都
6月上旬	公益財団法人 農業振興会館 理事会	大和平野土地改良区
	なら水土里ネット女性の会総会	大和平野土地改良区
6月下旬	公益財団法人 農業振興会館 評議員会	大和平野土地改良区
7月中旬	奈良県土地改良事業団体連合会 監事会・決算理事会	大和平野土地改良区
7月下旬	奈良県農業農村整備事業推進協議会 総会	大和平野土地改良区
	奈良県多面的機能支払推進協議会通常総会	大和平野土地改良区
8月下旬	土地改良区技術実践向上研修会	大和平野土地改良区
9月	奈良県土地改良区連絡協議会 総会	大和平野土地改良区
10月15日(水)	全国土地改良大会佐賀大会(日程:10月14日から16日)	佐賀県
10月	奈良県農業農村整備事業推進協議会 県外研修会	—
11月25日(火) または26日(水)	農業農村整備の集い	東京都
11月	奈良県土地改良事業団体連合会 理事会	大和平野土地改良区
	公益財団法人 農業振興会館 美アップ農村・レディセミナー	奈良ホテル
	国予算に係る政策提案・要望活動	東京都
12月	複式簿記推進特別研修	大和平野土地改良区
	公益財団法人 農業振興会館 最先端農業を学ぶセミナー	—
1月	換地計画実務研修	大和平野土地改良区
2月	奈良県土地改良事業団体連合会 監事会・理事会	大和平野土地改良区
	公益財団法人 農業振興会館 理事会・功績者表彰審査会	大和平野土地改良区
	多面的機能支払交付金研修会・農村振興シンポジウム	—
3月下旬	第66回 奈良県土地改良事業団体連合会 通常総会	大和平野土地改良区
3月下旬	公益財団法人 農業振興会館 令和7年度 農業振興功績者表彰式	大和平野土地改良区

※ 今後、変更する場合があります。

● 編集後記 ●

「奈良の土地改良」をお読みいただきありがとうございます。新年度が始まりました。当会では、新規職員4名を迎え、新たな気持ちで業務に励みたいと思います。また、全国土地改良大会推進室を設け、令和8年度全国土地改良大会奈良大会の開催に向け、本格的に準備を進めてまいります。令和7年度もよろしく願いいたします。(編集部)